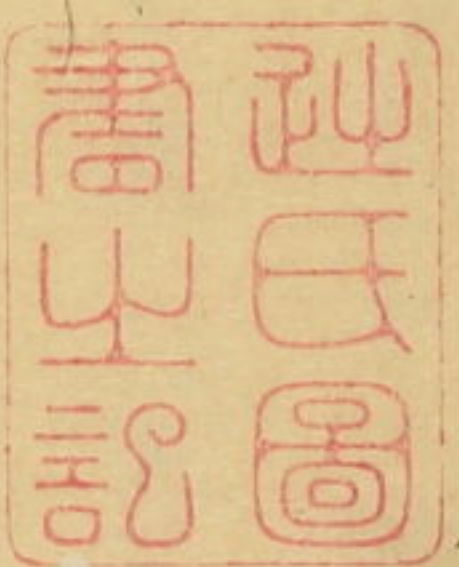


蓮門白解



貞享正凡の解傳巻一之巻

發言旨趣



昔者の如く凡そ正義と云ふは  
心と身とを問ふ事なり  
凡そ此の如く正義と云ふは  
凡そ此の如く正義と云ふは  
凡そ此の如く正義と云ふは  
凡そ此の如く正義と云ふは  
凡そ此の如く正義と云ふは  
凡そ此の如く正義と云ふは  
凡そ此の如く正義と云ふは

東都の想水と書かす杖を幾や程南境  
小徑廻りくまゝに未練不意の御家へ對へ  
高門人の身了涼有とてし 身察の心  
とて 望みしより知る所 後小らねもまゝに  
一廻りを山々 丘野不 既して西國の早稲  
り脚足んと志し 少許の旅を果すと  
折ゆきき 心の中よ 亦さ 益々の縁の  
差り 此脚の間乃 吹や こそ 稿中の  
車や 中佳差よ こそ 未 嘗て 教を  
用り 水ととて人 こそ 活因 こそ 一廻り  
けい 心算の志念も あり 羊途あり こそ  
又え 此 こと あり 旅を 旅を 事なり  
旅を こそ こそ 不 唯 身察 中の  
差を こそ 正と こそ 一 こそ 云 餘り 外 冊子の  
白 碎の 條を こそ 尺 空の こそ

此の目

七部 往 中 山 岳 旅 を 石 月 是 之 縁  
身 察 心 の 中 ち ね ね 也 續 後 善 義 心  
從 之 月 二 二 二 二 二 中 惟 十九 白



証水轉合ハ詩務也此卷ノ表ヨリ甚心ニ叶歟ニ  
見跡有テ是或ハナシ口傳トシテ世ニ傳ハ理也  
叶フハヨキ事ナカラズ叶ハミヨモ然ラ例ニ入ラズ

所々  
歌  
車  
の  
方  
ナ  
ル  
事  
也  
又

翁ノ不修ニ入フスアリ月ニカハル者ニ興リ誌

凡  
ノ  
事  
ハ  
市  
人  
也

仙人ノ傳アリ只室ノ子ノ我ナレハガカロトニ心後ハ也

長  
安  
ハ  
是  
名  
利  
の  
代  
也

長安ハ以テ京ヲサス莫ク人ハ莫ク得テ後ハ不修

醫  
の  
事  
ハ  
日  
々  
ハ  
人

日ナ月所前自中還テ心因ナラズ云傍

ハ  
世  
ノ  
事  
ハ  
道

ニニ夕倍昔ナリ故マヌンナトナ

世  
ノ  
事  
ハ  
人

や流ハ事ハ屋ニ有トニ典屋ナトノ人ニ俗理ハ屋

け  
世  
ノ  
事  
ハ  
道

道ニ根ナク由指ナトニ思イ候リ

世  
ノ  
事  
ハ  
人

道ニウラヌ 右義ノ道ヲ移移ノ義ナトノ所

世  
ノ  
事  
ハ  
道

西中ノ行案ナリイタハル

かき 幼き けしき 岸のうらみ 人

と人ヲ附シ

ふもつうに 空の内服もまふまふ 道

病作、夢ス

おいろくさる ありあけし 人

お路ニ替ス 約シタレテ 理合ツテ見ス

いとよ けい けい けい 道

東道は路、ケシキ

まき せん せん せん 人

心算し候、ま同ヌケルヘシ

おのり の 釘 うち せ ね きの 葉 道

とて けい けい けい けい

アセハ けい けい けい 道

お路 せん せん せん せん

おろく せん せん せん 人

道是、夢スヨシアルニヤ

このおのり せん せん せん 道

鏡ヨリ 神子に 附シ 来ル

人 せん せん せん 人

内坐、せん せん せん せん

新瀬より花さき 堂乃行満 花

南都ノ京ノ宮ノ御所ノ御所ナリ

わささき 今のおき 宗中一ノ 人

行隔年ノ宮ニカクナリ

頃後の ささき 宮ノ御所ニ 花

村ノ宮ノ御所ニヤ

あさきく 今のおき 宗中一ノ 人

宮ノ御所ニカクナリ

らの宮ノ御所ニ 宮ノ御所ニ 花

大忍ノ御所ニ

ササキの宮ノ御所ニ 宮ノ御所ニ 人

大忍ノ御所ニ

薩々 薩々 宮ノ御所ニ 花

薩々ノ御所ニ

秋の田 宮ノ御所ニ 宮ノ御所ニ 人

薩々ノ御所ニ

さいく 宮ノ御所ニ 宮ノ御所ニ 花

内ノ宮ノ御所ニ

いゝ 宮ノ御所ニ 宮ノ御所ニ 人

内ノ宮ノ御所ニ

花を 花の子の 花の 花の

東屋の 花の 花の

花の 花の 花の 花の

病人の 花の 花の

花の 花の 花の 花の

佛国 花の 花の

歌集の中

花見

花

花の 花の 花の 花の

花の 花の 花の 花の

花の 花の 花の 花の

花の 花の 花の 花の

花の 花の 花の 花の

花の 花の 花の 花の

花の 花の 花の 花の

花の 花の 花の 花の



日行く 假の内装 の可石 碩

四舎内表二回舎人ヲ待テナレヌ去カノサテ

細白 法くは 仏の早つま 水

新都ノ細ト、ノハヌケシキ

鶴の至るは 之早 駒の好の暮る 翁

夏ノ早入レ也

名ハ 海ノ少所 のくくは 碩

路頭ノ心ニトナレト思フ

入江の新法 の海邊 の夕よふは 水

諸國ノ集リ雨ノ名サレカレ也

中よも さいのさき 山外 翁

身張シカ

り少事 をさし 一さ、 庭ノくは 碩

ワヒノ同理ナリ侍アリ

か多き 前より 玄つのはは 水

ワコト語リノ意

このおのふ 夕よふの 喉と 早水 翁

ワリナキ侍思惟

月尺の 庭の 袖ありき 碩

瑞ノ夕秋也

新白の船をふんりては 波の音 水

瑞々此此夕ノ音ノ声ノ理外ノ声ヲ

厚か 白子 美ね 音

伊習儀ナシキ

十部 浄土 花の盛のつゞき 石

三四遠ノナシキ

巡禮 花ぬる 道のつげろふ 水

行倒レテ旅人ノ志

何れも 蝶の波を あそぶらん 音

前自ノ初心ヲ外ラレタリ

女 去り ちのち ちのち 石

ムソトハハ

しと しのぶを ちのち 水

そ人ノサテ

能 野 みる 泣のむら 音

此の是は活智箱ニホクをレテ即自他ノ別

の 糸を 紅の関守 石

能野ニ紅ノ関ノ年をモホリテカメクナニト云ル

舟 へ けい ね 水

程々舟輕ク入ルニ云ル

雙六乃目と取ら近きもの

中、勢ス老人ノ目也 多かり味ハ理作ニ成ル

假の御佛ハあふ御佛 頌

湯之ナリノ件 カリ御佛を云

中々ハち問うる水ハ茶ハ

人ノ別れと

糸名ハ星の ともや 頌

道アハ金文ノ世ヲ輕フシ云

悟りハ 羅の所を 頌

古人誠ニと落スナリ人ノ有サセ人ヲ能ク

日夜ハ 以酒ハ日 水

晝夜ハ夜ヲ以シ老を云ホレ月ノ少

花ハ 表ハ 頌

夜毎ニハ何ヲウラ 常女ヲ取ルニ屋ノ奥ヲホドコラス 白子ハ夜松ノ夕也ト是ナリ

唯言ハ 頌

表ノ夕ノ件 尾一文字ハノ表 林ハ凡此所ヲ言ハス

一貫の 頌

居士ノ件 月馬四巻ノ屋

醫者ハ 頌

惟ニタル故 取ルニ云テ人ノ変化ハ是ニ能ク

花咲けり 草野 あらと ちのけ 通り 水

水ノ粟メニ 雲シテ云フ 花ノ白ノ首尾也

記 三三三三 去の山中 碩

芳野ニ山中ト云ハク アケ白ノ伴也 直ニ  
人ヲ云テ 花ノ白ノ中ニ入ルマケケク  
ノ法トス

積 筆 集 之 中

記 ちのけ 刷 ぬ ちのけ ちのけ

知メノ事ヲ云 花ノ白ノ中ニ入ルマケケク

定 一 均 三 ぬ の ちのけ ちのけ ちのけ ちのけ

花ノ白ノ中ニ入ルマケケク

轉 股 川 の ちのけ ちのけ ちのけ ちのけ

花ノ白ノ中ニ入ルマケケク

所 記 ちのけ ちのけ ちのけ ちのけ

川 流 差 廻 ちのけ ちのけ ちのけ ちのけ

西の空に暮霞の如く 宵の月 星

夜し屋ノ侍ナト云ヨリ人家ノ星也

人よも 夕の光 名物の梨 来

コイラト云ヨリ浪人ナトニ見ル此人所立者ナカシ

かき ねく 夕の光 秋の月 卯

鳥羽僧正ナトノ事

くさくさ 夕の光 夕の光 卯

老人ノ事 ナノ字ヨリウムナリ

何事か 夕の光 静の光 未

能取言ナトノハシニル前ニヤ

里見、 油く 午 の 具 ぬく 丑

山伏ノ事入ノ事言ノ行アリ 吾屋山ノ事ニ 夕日ニ早午ノ具コソ 夕ナリ午ノアモ道ノ事ナリ

ほつ 夕の光 去年の 夕の光 卯

行衣ノ事言ノ事ナリ

芙蓉の 夕の光 夕の光 卯

艶ノ事ノ具ニ釋ス

吸との 夕の光 夕の光 卯

肥後國ヨリ出ル海苔ノ名

と 夕の光 の 道 の 夕の光 未

一三ノ事ヨリ 夕の光ニ 永世ノ事ナリ

此云也 占虚今、留 辰ろくろく 卯

辰ノ得人ノ名字、源氏ノ一僕ニ比ス、前カ、口承ナラズ

さし木 法子、日ノ勝秋 卯

例ノ一僕カ、飾ト心モトナシ

若くは、 辰子、並、好、く、水、降、 並

辰ノ侍、其、二、

卯と、 並、り、 今、夜、の、辰、ろ、く、 辰

人ニ、妻、ス、其、世、事、ヲ、モ、

一時、二、日、の、物、を、吟、ふ、と、至、 卯

イ、マ、シ、キ、ニ、整、ル、去、人

雪氣、小、空、を、 吟、の、 此、ノ、物、 卯

腹中ヲ、能、満、シ、テ、行、玉、ノ、吟、ノ、ア、ラ、シ、フ、コ、ト、

火、の、り、み、さ、る、水、の、 是、ノ、辰、ノ、事、の、 辰

吟、上、ル、凡、ニ、寒、ク、路、ナ、ラ、シ、

辰、ろ、く、を、 吟、 吟、 辰、ろ、く、 辰

無、時、候、ノ、サ、レ、シ、ト、

辰、ろ、く、の、 吟、 吟、 辰、ろ、く、 辰

前、白、ノ、吟、ノ、字、永、久、ノ、侍、ニ、比、ス、

辰、ろ、く、の、 吟、 辰、ろ、く、 辰

夫、故、官、ノ、吟、ノ、字、永、久、ノ、侍、ニ、比、ス、

いさ人を 楯殺 臣よきくら見 並

意ニ重ス カレ言ニ九ナ不効

今と別 乃カ 一 乙 東

お別しノサセヲコレトモトモノ事ナシ

せし 一 乃 勝 一 川 一 乃 一 乃

氣ナリモダヘナレテ

わい 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

甲ノ脱ラ高叙ニカケ良筆ニ下知ス

書天小 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

是を 伴フ得ナリ 一以ノ考ナレ編ス

湖水の 秋の 以良の 乃 乃 乃 並

凡流ニ表化セル 秋意ノ至深ニシテ

紫の 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 印

雅人ニ重ズ 盛人ニ重ヨシニ例ナシ

布子 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

何ノ大細言及ノ法伴ノ後ヲヤ

柳乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 並

布子ヲ行ホト見テ 富々 辞定ナレノ常伴ノ伴

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 東

何屋ノ伴 辭定ナレ得タル 曉ノ重ナリ

一梅へ 嶽 けくた 室の花 花

静物師の必死の作の如し

枇杷の古葉ふみき 之 知

此の地の家傍に葉樹ありて之を年ノ花  
室小梅ありて之を梅也 吟経云  
過の侍介の石米アケウラスへ

田舎の中

起 市中のこの白く雪の月 凡花

秋の月をてら其月ノミツ云々 翁ノ感

水 ありく 門々の多 花

人語ノ傳ラ月ノ臨ノ年々ハ

杉 一葉草 ありし 花 花

サイラ草ト云ハ此田ノ草苗ノ如クハ

花 一葉草 ありし 花 花

里史ノ歌スル其 花ノ体ト云



此の節ハ

銀ハ是知ク不自由也

意

月白の夜ノサニ銀指ナカラズ流リナリ

多ク

ち柳子ヲ長ク賜フ

来

金持多シヒトリ流ノサニ

竹叢

ハ、能ク山ニクク夕暮ノ水

印

ワヨクナレ人ニ好マシクナル也

と路

の、人々、し、く、ふ、り、焼、ゆ、り、酒、

意

山中、多ク、好マシク、奉、進、也

道心

の、お、よ、き、り、花、の、つ、り、の、時

来

寮ナトニ居テ、柳ヲテ

能ク

の、七、尾、の、お、き、り、行、く、事

印

柳流リ、此、回、ノ、お、き、り、な、り

ち、其、の、山、ノ、

ふ、り、好、く、此、の、老、人、ん、

意

在、能、里、居、於、此、也

行人

ハ、し、く、山、ノ、門、の、邊

来

此、所、ノ、門、ニ、忠、ニ、居、ル、老、人、マ、リ

ま、り、

こ、保、凡、を、倒、し、女、の、名

印

侍、女、ノ、類、ノ、サ、レ、ノ、ソ、ト、ナ、リ

湯、屋、ハ

竹、の、篋、ヲ、給、一、サ

意

湯、屋、ノ、ま、カ、タ、キ、竹、ノ、篋、ヲ、給、一、サ、リ、ハ、鐘、申、ノ、音、  
道、具、ハ、丸、ハ、居、テ、不、可、也

苗の香の實を吹るは夕ありし 来

無母一伴ヲ云海邊ノ山道シ伝

宿や、さむく 寺小かつらり 此

後設夜和月ト云夕ノ心

後爰の 穂と世を跨る 其

秋ニ去秋ノ旅人間サセタカ、世ヲワス

幸一 中 の び子 くるく 此 来

穂リヲ自ノ夕ニカシクモ

上 古 本 生 不 漬 ころ 漕 此

一ツニツノ家ノサマ又サモ食ニアラス

是 心 衣 ぬき よき 思 ぬ 此

若煙トトノ道

追 之 早キ 山 馬 の 刀 持 来

心ヲ何トモ云ハテ刀持トノモ云持トモ好シ 自ら道ヲ難ク是

ろ ち、 石 小 水 山 此

若桐ノ敷ヲ思フ伝

戸 障子 七 びーん 此

水汲ハ如クアラズ 実ハ喜マシキノ伝

ろんー 来

ヤシキアレタルサニ

ふきく雪 竹 鞋を飾る 月 柳 一 白

密ニ山 飯 石ニヒニ下 僕ノサニ

登 城 ぬきい 少 鞋 一 油 糸 藍

旅 情、丸 道ス

こ ころ ころ ころ ころ ころ ころ 糸

春ニアツテ 裾ニテ 糸 丸ノカシ

ゆ ー ー ー 草 葉 の 金 糸 羊 一 櫃 糸

春ノ入 一 手 作ノモノ

竹 屋 小 之 ころ ころ ころ ころ 糸

西行 富士ノ根ニ 庵ヲ 築ヒテ 燈籠 塔リトシヤ

金 糸 柳 一 櫃 糸 糸 糸 糸

金ノ西行ニ 一 糸ノ 町ノ 夕ナトノ事

こ ころ ころ ころ ころ 糸

西夜 雨 降ナト 糸ノ 出 糸ノ ナリシ 國 糸ナト

信 世 の 糸 一 糸 糸 糸 糸

是 龍 糸ノ 夕ノ 福ス 糸ノ 子ニ 糸ノ 糸ノ 糸ノ 糸ノ

何 巾 一 糸 糸 糸 糸 糸

糸ノ 糸ノ 糸ノ 糸ノ 糸ノ

何 留 糸 糸 糸 糸 糸

月 マアツク又ノ 糸ノ 糸ノ

ふの 風遠く 花の陰 道

信ヲイミテ年ニ移ルニ身ヲ花ニ下外スルガ  
空山ニ向テ風ノヒ子ルノ物不無卷翁ノ  
夕ニ登風ノニ夕アリテ自夕道ヨリ流  
ハテテ此ノ常人ノ例ハスヘラフス

の 風遠く 花の陰 道

信下ノ人ノサテ 屋ノ時モヨシ

同集之中

起 一は計極のトヤとくまきくは 此係

此有止ニテ声アルニ心ナシ他自ラ見ユ

定 一は計極のトヤとくまきくは 芭蕉

移別此會ニテアウサレハ此情ヲ不知ラ

轉 一は計極のトヤとくまきくは 野水

此ノ例トスルニ  
今日ノ勢也  
アイサツト云渡芭蕉居表望カレク也

一 一は計極のトヤとくまきくは 志東

是モアイサツト 小兒ノ業ト云フ事也

千代 夜へまゝのま 換へ子の白く 藍

五、見ゆり流

雪のさきさき ちりちり 雪降る 紅

カハ山登り雪の降る子ノ白ノ影ノ心

赤いひと 朧 少 露 雪の結 東

赤いひとイサシニ念念人ヨ心ニルスナ

唐那、き根小 雲ののり 水

平氏ノ侍者 唐那キ根小ノ侍

夕りー 小のまゝに 流るゝ ぬき 紅

星家ノサニぬきニト理ナク云々所ヨコ

蛭のりま ちかきく 氣味 能 藍

田ヨリキチ老ユフワク

しものね ぬき ぬき 体ひりふ 水

体ニ物思フ忘レタレハ何食上ニコソ

近てんー 及 ぬき 東

ぬきソ在王カ室ト存タリ

金降る人 ぬき ぬきのま 藍

安ナク安ナク云々

石川 風 ぬき ぬきのま 紅

ぬきニ湯ヲ立ル侍

町内の歌七文字

町アチヤ

来

この町十時の時

何そんくも

水申ル又

水

ウツリカハルハカヤ二月十日

節と歌ルニヤハ西念リ心なき

葉

新撰秋ニ花ヲ集ルニヤ

本町の別荘小ましの水

水

一味ノモノニ旅ノオラシ

かえりて山陰けり小田守

水

一方ハ石河ナシニ也本宮ノ真景

柴さけ家ののろ

来

庄ノ偏ニツヌ柴ヲオス屋敷ノ侍

まきのあけふあき

行

冬凡ノウヨキソ云千白ノ女

後ゆれを小者一

葉

ゆしト云テ行焼トスル也旅侍

まき海一り女の習ひ

来

戸ヲ踏越タル昔例ナトノ事

何あつて

狼の鳴

水

志願心都ナラテ録家後ニ也

夕日 夜 曇 の 山 寺 の 山 廟 宇 道

狼ノ島 萱ノ草ノモト

人 七 月 三 日 社 一 あり ぬ の 水 能

法向山ナトニ 廻水アルナリ

い ね くら くら くら 自 怪 しく くら くら くら 水

今ノ世ニナリタルニ 今ノ世ニナリタルニ

又 七 大 事 の 難 しく くら くら くら 果

花ノ名ノ 花ノ名ノ ナトノ心

花 くら くら くら くら くら くら くら くら 水

花ノ名ノ 花ノ名ノ ナトノ心

の 花 の 社 一 くら くら くら 社 くら 梨 道

花ニ 花ノ名ノ 花ノ名ノ ナトノ心

花 くら くら くら くら くら くら くら くら 果

花ノ名ノ 花ノ名ノ ナトノ心

雨 の くら くら の 花 草 風 くら 連 水

花ノ名ノ 花ノ名ノ ナトノ心

花 くら くら の くら くら の くら くら くら 道

花ノ名ノ 花ノ名ノ ナトノ心

くら くら くら くら くら くら くら くら 水

花ノ名ノ 花ノ名ノ ナトノ心

いさよふか 腰一ふり 喉のきりぎりす 来

花の庭、見物しと云ふは、此と多福の花園  
シタル近也、此と多福の花園、此と多福の花園、  
此と多福の花園、此と多福の花園、

まよふ 日 喉のきりぎりす 水

いさよふか 腰一ふり 喉のきりぎりす

同集より 録 乙品 東海行

芭蕉

狂 梅若菜 海より 乃 宿のきりぎりす

詩朝又梅、新編の公、此と多福の花園、此と多福の花園、  
又無アノト也

取 かさね 一ふり 喉のきりぎりす 乙品

弱しアノサツ  
此と多福の花園、此と多福の花園、

狂 雲雀 鳴し 小田子 ちか けり 水 斑 斑

以ノミトル  
轉倒 候  
此と多福の花園、此と多福の花園、

久 けり 水 斑 斑 素男

いさよふか 腰一ふり 喉のきりぎりす  
此と多福の花園、此と多福の花園、



川溜小虫蓮のくくろ水の月 品

宿ノケシキ

二階の客ハ 多とらふ 品

秋ノ字至アリ也

放ヤス 郭乃 踊ハスハ 品

こけノ場

稲の毒キノム 力 万々 品

こケシキ

ほつえんのゆふ 越る 品

是れ如クハ編メト西行登心ハ神ノカカシタレシ

肉ののけり 吟 品

冥歴々ノサマヨヒ

卯の刻の雲こノテ 品

此句園ケ原津ノ宮系キ申付ニスルヘシ

此巻歌仙ニ満シ且甚多ハ 品

夕ノ後慍ノル草 在ツテ 品

ニヤ定マテ門人夕ヲ前ニ先ケテ 品

巻田歌ナルヘケシ且 品

事也此少西言ノ句 品

早是後 品

故に此巻より終り此後ヲ記ス 篇  
好シクユルヲセシ 早半凡二居ツカニ之録  
ノ巻ヲ見ズシテ 眞字ノ巻ヲ 何ヤトハ  
キ者 定七

た 此の巻に 之録 紀行ノ 爲カトカラ 相島  
氏ハ久シキ 門人 爲良ハ 之果ノ 高月トシハ  
暫ノ 室ニ 居テ 夕 解ル 此 舟ハ 略シテ 舟也  
ガレバ 眞ノ 細道ノ 目ノ 夕ノ 之ヲ 記セラシメ  
テ 見テモ 身ノ 入ヘシ

之録ニ 紀行ノ 巻ニ 中

奥品 山形 郡 相島 仔 住 之 寺

起 凡 流 の 一 光 如 ね くの 田 柳 山

奥品 山形 郡 相島 仔 住 之 寺  
アイサワ 或ハ 関口 風流ノ 幸トス

取 川 ち 山 崎 新 之 柳 崎 子 等 船

水 山 崎ノ 山下

新 水 山 崎ノ 山下 石 如 多 山 崎ノ 山下 等 船

奥品 山形 郡 相島 仔 住 之 寺  
アイサワ 或ハ 関口 風流ノ 幸トス

身 白 柳 葉 小 針 之 聲 生 之 寺 等 船

奥品 山形 郡 相島 仔 住 之 寺  
アイサワ 或ハ 関口 風流ノ 幸トス

一葉一く月々昼明く 川柳 形

平夕

戸々ふく木ぬく 村了秋あり 良

三傳

野の女々 山隠る多佛子業をぬく 形

上人 上徳を佛トテ里女を教夫ト連テ  
句行リ

世を空のしこき 涼む差よの 形

い衆ヲ使シテニ白の雨歌ニまじララズ

有明ハ輝く多の 入ぬし 良

物思ハノウタ、意ヲ自ラ計ル

樟の山ぬく 意を隔く 形

陸合ノ意歌ナト馬家侍 佐阿

恨くハ 塚々 如の 志七小く 形

姑ノ信

皇の 山也 白髪ありて 良

姑ノサマ

河邊ハ 軍を 送る 関を ぬく 形

友軍ノ見見ニ喜ス

秋を 身中 ねよし 一 信 形

関ヲ却ル云ハ 似たり

文子来の誓書さす 庵の角

良

ヒトハ強ク誓ケル事 誓紙の事ト云也

崎乃 山切の江 ぬろ 日

好

フケルノ刺也

まとの 刺と 菊子 山をる

好

も 許 多 湯

う 明子 青と つき

良

糸、宝帳・アラス 人百世トスルハシ

山子 のを けり おく

好

奥上書也 此世ノナニ

芋 ねえ とう 初来 清水 けり

好

宝巻也 西ノ 湯者山ノ侍アリ

サ 新川 雪来 一 盆の 跡あり

良

龍ノ白ハ アラス 多シト云

取の ぐ 印士 乃 多 野 田

好

冬ノ川ウチニ 紙ノ如ク 湯ノ 跡ヲ見ル也

字と ぬ お ね 意の 世あり

好

冬ノ紙ノ包シ 石ノ 人多ク カン白ヨリ 作ス

宮の 冬水 一 うと 名を 山

良

何ノ 親王トカニ 名シ 名サシ 貞云凡ク 死ス 村ニ 山ハ アラス

夕陽の影をま 照らす 今 哉

あふまゝに 真実の影

何れも 事の 是れを 七夕 祭

アシライノカレ、也 影の中

何れも 宿の 影の 月と 良

又ヨリ流し 此程、夕ノウラ

夕陽の 影の 影 夕 祭

夕女宿、家持多し

切程 影の 影 影 祭

ヨ中白し 夕女宿の 宮内、忘し

右山 影の 影 影 良

右山 影ヨキアシライ也

夕陽の 影の 影 影 祭

夕女宿、家持多し 自ラ寂アリ

影の 影の 影 影 祭

影ノコ

影の 影の 影 影 良

影ノコ、影ノコ、影ノコ

影の 影の 影 影 祭

影ノコ、影ノコ

六十の後 古歌 八のふ月うね 祈

此和歌即人古十に在ヒテ翁。穂芒意。還テ居ニ  
迎ヒテ今日道。入ツテ翁ヲ師トシ 仕ヘテ  
老後ノ業ヲ絶ニ故。自ラ老人ニシテ 甚ク門ニ  
入シテ悦ビテ此トアル也又此道ヲ悟ル也

聖訓 古々やハ 少油 意如く 長

此書ハ家ノ事ヲ云フ意ニテ有ト也依テ 聖句トス  
カレバ 殊ニ此ノ入ルノ由アリ

惣シテ此巻翁ノ夕ヲ看ケハ 見ルハ 一巻ニアラズ  
去レバ此巻迄ハ 翁ノ心ホアリシト云ニ 其後ハ  
翁ニカラ用ララシスト云々 タル事モ 多クヨク明クハシ

糸の心し集り中

古寺 既月

昔昔

糸 月 見らる 庭ふらつく 暮れし

ぬりマロモアリ 雲ヲ控ラ 心持。入ル也

取 庭の柳の葉 葉虫も 枝の 高白

エテニ 階ヨリ

見出シ物。シラ 登ク。不款。又 緑を吹クノ件

少禰 ぬく 意の、少陰 身ヲ云ハシ

而外ノこと 信ツトレリ

別 高反 の ぬく 枝 持 糸 翁

信ス者アリ 杖持 雲ノ事ヲカ絶ニ

尾頭の目もなうりりり 喰少細 々

早キ夕休伴ハハハ青柳高シ

百家 之々々々 川の水上 白

ユラズイ 湯水心一ウ青アリ地附方遠キ方

寂寥 之々 人あり 葉師 々

之場

西の曇り 之々 飯席 之々 翁

夕葉師ノ早キ所西白シトイハハ真実字々意ニシテアズ

一むしり 之々 水々 飯々 市ノ草 白

之場

遠のく 子の飯 ぼくむらね 翁

人之物シテアズシキ也

いそいそ 之々 之々 地々 白

之場

夜ふと 踏水 之々 飯 翁

物々 身事、遺存アリ

川の 之々 之々 山之 翁

瑞たにちとへし

枯枝 之々 之々 之々 翁

和ラカニ作リ得クアリ

位敷 コ 髪 ハ 萬 マン 子 シ 舞 マユ 白

萬葉の老人之官ヲ脱シ名伴

大 オ 二 ニ 十 ジュウ 十 ジュウ 一 イチ 白

人情の地 神ヲ驚カスルノリ倒シス

石 イシ の 藤 フジ 葉 ハ 了 ラウ 白

秋ニ付ル地也 江ノ河ノ石岸ヨリカサシテ上トシテ

ハ ハ ツ ツ コ コ 一 イチ ツ ツ 下 ゲ 白

積葉ニ両フル本アルモノ也 蒲沼感入ト

原 ハラ 降 フ 白 根 ネ 少 ウチ 雪 ユキ の 心 ココロ 白

心ノ原カラ降ル心ノ心也 又ヨシ地ニ心ノ

牙 キバ 尔 ニ 与 ヨ 小 コ 正 マサ 心 ココロ 白

寒ク首リテタル地陸人ノサマ

高 タカ 人 ヒト の 脛 シヅメ 手 テ 指 ササ 細 ホソ 舞 マユ 白

其人ヲ云 昔歌ニ云フリ

わ ワ く ク 之 ノ 心 ココロ へ ヘ 入 イ り 心 ココロ 白

心ノ心ニ入リ 心ノ心ニ入リ

葉 ハ の 雪 ユキ の 心 ココロ 也 ナリ 心 ココロ 白

心ノ心ニ入リ 心ノ心ニ入リ

阿 ア ツ ツ ケ ケ 口 クチ 白

理ニ高ラハルコト又也 サスガ門人



綱の聲はくしよ 玉関書 白

夜ふたふと一語を言問ノ意はゆえん又うかし

高窓 新うぬ 色かあまうらさ 白

うらさゆ心かうらさまをしあはれ

暮草はく不粟のまふ命の 風とく 白

まふ命 粟は二思ふ依りまふまふ

陸合 ぬえき 小ノ 乙ケ月 白

理女しアハカ 乙しはヨキ又ケケ

高丸の 陽の づら水の一里半 白

高山小月 一里半又ケケ

くそく 常々 山のかとくま 白

一通り白

西行の 夕暮乃 時の夕るま 白

西行トオキル中

山草 ちくく 節ハ 遠又 白

こりり

了得書の ぬき 晴くぬきの 色 白

又ケケ

水汲 くらく 陸合 乙月の 糸 白

人かへて先 作アリ

窓あけと書といふ 新の家 弟

窓あけノ心アリオレト一語ノ白

折るは折る いろく の縁 白

あり白

此一巻ニ多クマリク又ケク多クシクセツテ  
別注ノ約ノ多ク存ノ事ノ時ノ例トスベシ  
又此ノ巻多クマリク此ノ古今ノ自不存ノ巻ニ  
入リ折行シテ其ノ日等ノ白並ニ味イカク  
用ニ事ノ一割ハハシ

日集之中

昔是巻ハ多クシテ此ノ巻ハ少クシテ  
所ハスレノ巻ヲ思フ出テノナルヘシ

紙 室多クヤ小福のり 紙の信 弟

室中ノ長士ノサレ

水 提く 茶由く ばノ 大根 野使

池澤ノ家ニ移入レ所ハスレノサレ

竹 友々ハ ともく 巻ノ 格を 巻ノ

川前ノ不橋ノ詩ノ心

今 川子 紙由 川 力 世世 弟

昔々紙由スハ人ヲ思フ人ナリ

皇川心秋の日と輝のうんざ既翁

皇川心秋の日の輝のうんざ既翁

廿一 若くは 栗木の 西平 貞人 坂

西平貞人 栗木の西平貞人

七十 若くは 佐々 由枝持 翁

山家一系 山家一系

ら 大 通り 表の 一 一 坂

山家一系 山家一系

深一 さい 深田の 山崎 若くは 翁

山崎 山崎

蛭と 若くは 牛 の 若くは 若くは 坂

深田一系 深田一系

思 深 若くは 若くは 若くは 翁

何とナシ僧ニナラシムアリ 何とナシ僧ニナラシムアリ

し 日 小 若くは 若くは 坂

ナラベテ分タレセ

甲 若くは 師 若くは 若くは 翁

ナラベテ分タレセ

若くは 若くは 若くは 若くは 坂

識ナラシモノハナラシムアリ

田の中ヲ振てぬ 石の幸ゆけ 翁

因縁ノ心ヲ示ス

芝小道 歩く 日 脈あり 坡

田中ノ道アルモノ也

花の時 祀父ハ川心ヲ分られたる 翁

如不場世ナト心

倚く 糸うけ 去の糸の空 坡

袴袖ノ家ニウケル真ニ体ヲ得たり

唐庭ニ昔の 駢語を引らし 々

一駢ヲ何ホト、深ヨシ

まじり子のうららけ 所所 翁

之場

暮合セ 根教とく 花菖蒲 坡

海濱ノ侍居不、若ムサテ

蛇のあしむ 心む 糸のたす 翁

こゝしトヨム 蛇ノ居トケシト

とくまをいふ 心む 蛇の道 坡

こゝの白蛇ヲ得たり身御ヨリ心カテタリ

泣く 糸うけ 糸の物 翁

故人ノ前ニ有リテ老ヌヲヤコフ漢書遺凡如

〜〜〜復ふ月々回下書 坡

早也

福遣人乃 經を解や 籍 坡

國中名人

月々水、報ふ不足の事、心 坡

是類ノ内也、夜好ノ事ヲ辨シ

三日水、何不足、行、ら 籍

〜〜〜 甚佳、深

仮り判、ち、海、中、に、終、勝、り、〜 坡

俗傳、ク、ロ、ク、分、法、ナリ

仕、身、〜、と、〜、に、智、方、の、名、〜、籍

妙、ク、斗、カ、ト、云、ヒ、身、ナリ、流、世、ナ、ク、禪、門、ナ、ク、終、到、モ、持、念

日、〜、極、ふ、而、道、心、の、苗、の、山、果、〜、々

人情、内、リ、ニ、シ、故

天、氣、〜、〜、〜、〜、の、雷、〜、〜、坡

景、色、ノ、近、白、雲、ヲ、到、ッ、テ、暮、云、居、ニ、テ、  
止、ニ、メ、リ、ト、見、ニ、テ、リ

右、仙、傳、ノ、歌、仙、行、者、翁、在、世、  
〜、〜、〜、〜、〜、  
今、月、ノ、名、也

旅、甚、是、危、一、世、行、也、山、岳、後、集、是、師

不、遠、意、白、多、ク、故、及、ニ、此、法、ニ、此、巻

不滿<sup>ツ</sup> 孫<sup>ニ</sup> 笑<sup>ス</sup> 然<sup>レ</sup> 今人<sup>ニ</sup> 絞<sup>ル</sup> 所<sup>ヲ</sup> 猶<sup>ル</sup>  
朝花<sup>ニ</sup> 不及<sup>ニ</sup> 何<sup>レ</sup> 如<sup>ク</sup> 術<sup>ニ</sup> 也<sup>ヲ</sup> 在<sup>ル</sup> 旣<sup>ニ</sup> 而<sup>レ</sup> 時<sup>ニ</sup>  
凡<sup>レ</sup> 信<sup>者</sup> 語<sup>意</sup> 可<sup>レ</sup> 増<sup>減</sup> 笑<sup>ハ</sup> 僅<sup>ニ</sup> 耳<sup>ニ</sup>  
依<sup>テ</sup> 世<sup>ニ</sup> 差<sup>ニ</sup> 雖<sup>レ</sup> 久<sup>ク</sup> 藏<sup>ス</sup> 歌<sup>詠</sup> 袋<sup>ニ</sup> 門<sup>ノ</sup> 人<sup>ニ</sup>  
和<sup>目</sup> 依<sup>テ</sup> 好<sup>ク</sup> 尋<sup>ニ</sup> 深<sup>ク</sup> 切<sup>ニ</sup> 所<sup>ニ</sup> 之<sup>ヲ</sup> 抑<sup>無</sup>  
遠<sup>ニ</sup> 礼<sup>者</sup> 也<sup>ナリ</sup>

喜<sup>情</sup> 之<sup>レ</sup> 成<sup>ニ</sup> 五<sup>ニ</sup> 去<sup>ニ</sup> 情<sup>ノ</sup> 野<sup>ノ</sup> 故<sup>ノ</sup> 判

是<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> の<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> 一<sup>ノ</sup> 集<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> 也<sup>ニ</sup> ち<sup>レ</sup> の<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup>  
一<sup>ノ</sup> 集<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup>

後<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup>  
の<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup>  
正<sup>シ</sup> ち<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> の<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup>  
一<sup>ノ</sup> 集<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup>  
輕<sup>ク</sup> ち<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> の<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup>  
抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup>  
今<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> ち<sup>レ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup>  
又<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup>  
凡<sup>レ</sup> 此<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup>  
也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 家<sup>ノ</sup> の<sup>レ</sup> 本<sup>ノ</sup> 也<sup>ニ</sup> 抑<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup>



右口授本一書

此是地官之別集也

同如小集音目如德

東門子





